

行政事業レビューシート

(環境省)

予算事業名	自然ふれあい体験学習等推進事業	事業開始年度	平成10年度	作成責任者		
担当部局庁	自然環境局	担当課室	総務課自然ふれあい推進室	室長 堀上 勝		
会計区分	一般会計	上位政策	生物多様性の保全と自然との共生の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	・生物多様性国家戦略2010 ・21世紀環境立国戦略			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	自然体験の活動プログラムを提供するための拠点の整備とともに、活動プログラムの整備・提供、様々な自然とのふれあいの場、イベント等に関する情報をインターネットなどを通じて幅広く提供することにより、自然公園等の利用者に対し、人と自然との豊かなふれあいの確保や多彩な自然とのふれあい体験の提供を図る。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	自然ふれあい全国ネットワーク(自然大好きクラブ)事業として、①自然体験の機会を増やすため、全国各地の自然ふれあい施設等から自然体験イベント等に関する最新の情報の収集や、自然体験プログラムの開発等を行い、インターネットを活用したウェブサイトとメールマガジンにより全国的に発信するほか、②地域の自然や歴史、文化とふれあい、自然保護に対する理解を深めることを目的に、自然歩道の紹介マップを地域ごとに作成し、配布する。					
実施状況	①インターネットを通じて約398施設の自然ふれあい情報を提供。 * 21年度は、3施設閉鎖により削除、新たに9施設を追加。 ②自然歩道の総合的なマップを作成し、関係都道府県や施設等に配布。 * 21年度：九州、20年度：近畿、19年度：四国、18年度：首都圏、22年度(予定)：中国、23年度以降(予定)：東北・中部北陸・東海・北海道					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	5	5	5	5	51
	執行額	5	4	5		
	執行率	101.2%	86.6%	110.7%		
	総事業費(執行ベース)	5	4	5		
自己点検	支出先・ 用途の把握水準・ 状況	事業については、事業者との間での連絡・打合せ会議を行いながら実施するとともに、報告書等により、事業進捗や事業状況の適確な把握に努めている。				
	見直しの 余地	実施事業は、一般競争入札(総合評価落札方式)及び随意契約により請負事業者を決定しており、今後も、本事業の目的に沿ったより効果的な事業の実施に努めていく。また、執行状況を踏まえ、他事項との統合について検討する。				
予算   監視 の ・ 所 効 見 率	抜本的改善 (シート番号168「自然公園利用推進事業」と統合し、より効率的な予算の執行に努めるべき。)					
補 記						

環境省  
5百万円  
事業の発注等

【総合評価】

A. (社)日本環境教育フォーラム  
4百万円

自然大好きクラブ活動推進事業  
(HP(ナッツ通信、長距離自然歩道、自然観察の森)掲載、自然ふれあいプログラムの調査 等)

【少額随意契約】

B. (株)プレック研究所  
1百万円

九州自然歩道ルートマップ基本方針策定、情報収集、版下作成等

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. (社)日本環境教育フォーラム			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	自然ふれあいプログラム調査費 等	4			
計		4	計		0
B. (株)プレック研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	自然歩道ルートマップ基本方針策定業務費 等	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0